

2024年6月20日

令和6年度 学校情報

学校法人 水野学園
東京サイクルデザイン専門学校

学校法人水野学園 東京サイクルデザイン専門学校は、令和5年度および令和6年度学校情報について、以下の通り報告いたします。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

| | |
|-----|----------------|
| 基準1 | 学校の概要 |
| 基準2 | 各学科の教育 |
| 基準3 | 教職員 |
| 基準4 | キャリア教育・実践的職業教育 |
| 基準5 | 様々な教育活動・教育環境 |
| 基準6 | 学生への支援 |
| 基準7 | 学生納付金・就学支援 |
| 基準8 | 学園の財務 |
| 基準9 | 学校評価 |

| 基準1 学校の概要 | |
|-----------|--|
| 【教育目的】 | 自転車や関連する装備品等のデザイン・制作技術などに関して、環境デザイン・スポーツ工学分野まで踏み込んだ専門教育を教授し、社会に貢献する人材を育成することを目的とする。 |
| 【校長名】 | 酒匂 博 |
| 【所在地】 | 東京都渋谷区渋谷1-20-5 |
| 【連絡先】 | 03-3499-0655 |
| 【沿革・歴史】 | 平成23年10月 東京サイクルデザイン専門学校 専修学校認可 平成24年4月 開校 平成26年3月 一期生 卒業 平成27年2月 第一回 卒業制作展 平成27年3月 二期生 卒業 |
| 【教育理念】 | ①実践的な専門能力の修得とともに、ものづくりの喜びと奥深さを伝える ②古くから伝わる技術を学び、それを新しいかたちで表現できる人材を育成する ③社会の多様性を理解し、広い視野で物事をとらえる人材を育成する |

| 基準2 各学科の教育 | |
|---------------------------------|--|
| 【入学者に関する事項】 ・ 出願条件 ・ 入学定員 | 【出願条件】 入学時の年齢が18歳以上で、次のいずれかに該当する方 ①高等学校卒業(見込み)以上 ②高等学校卒業程度認定試験の合格者または合格予定者 ③高等学校卒業と同程度の学力があると本校が認めた方 【入学定員】90名 【卒業に必要な授業時間数】 自転車プロダクトコース・・・2年制[2,064時間] 自転車クリエイションコース・・・3年制[3,084時間] |
| 【カリキュラム】 | 各学年での目標レベルに到達するために、各コースとも体系的に編成されている。カリキュラム内容については日々活発に意見が交換されており、毎年見直され、学年を超えて多角的に検討されている。 |
| 【進級・卒業の要件等】 | 進級、卒業に必要な授業時数の取得、出席率、授業態度、成績の状況を総合的に判断し、学校長および教職員による判定会議で決定する。 |
| 【資格・検定試験合格実績】 | ガス溶接技能講習／アーク溶接技能講習・・・修了証取得率100% 水野学園 職業技能検定(各部門・技能とも3級・2級・1級がある) ・CAD設計部門 ・自転車メンテナンス技能部門 |
| 【卒業後の進路】 令和5年度 卒業生の実績 | 【企業等就職率・・・就職希望者に占める就職者の割合】 98.0% 【企業就職以外の進路】 進学、独立、独立準備、他業種就職 など |

| 基準3 教職員 | |
|----------|--|
| 【教職員数】 | 17人 |
| 【教職員の組織】 | 学校長、教員、事務職員、学校医 |
| 【教員の専門性】 | ビルディング科目・・・個人自転車ビルダー、自転車製造経験者 等 メンテナンス科目・・・自転車専門店オーナー、プロメカニック経験者 等 デザイン科目・・・元大手自転車製造メーカーデザイナー、プロダクトデザイナー 等 クリエイト科目・・・NPO法人自転車活用研究所理事、自転車業界誌編集長、大手自転車企業コンサルタント 等 |

| 基準4 キャリア教育・実践的職業教育 | |
|--------------------|--|
| 【キャリア教育への取り組み状況】 | 卒業年度生より就職ガイダンス、進路希望調査などを段階的に実施している。学務課においては、ビジネスマナー講座、業界研究、履歴書添削、模擬面接、などを実施している。 |
| 【実習・実技等の取組状況】 | 全授業の90%以上が実習・実技で授業が行われる。主に1年次では基礎技術・技法・知識を、2年次以降では応用技術・技法等を習得する。 |
| 【就職支援等への取り組み状況】 | 学務課を設置し、専任職員がその任を負う。 企業就職希望者に対しては、卒業前年度3月以降に就職活動のための具体的なノウハウ指導を行うと同時に、専用のWEBサイトにおいて求人公開を行っている。進学、留学に関しては、学務課においてすべて個別相談で対応している。 |

| 基準5 様々な教育活動・教育環境 | |
|------------------|---|
| 【学校行事への取り組み状況】 | <ul style="list-style-type: none"> ① 入学式 ② 新入生オリエンテーション ③ 学校長セミナー・理事長セミナー ④ 外部講師によるワークショップ(外国人講師含む) ⑤ 学生作品展示会・販売会 ⑥ 学園祭 ⑦ 企業インターンシップ ⑧ 学外研修 ⑨ 防災訓練 ⑩ 学内安全週間 ⑪ 卒業制作展 ⑫ 卒業式 |
| 【課外活動】 | ビンテージバイククラブ(有志参加)、ジャパンバイクテクニーク(有志参加) など |

| 基準6 学生への支援 | |
|-------------|---|
| 【学生支援の取組状況】 | <ul style="list-style-type: none"> ① クラス担任制および専用窓口を設け、学生が話やすい環境を整えている。 ② 公的奨学金、学校独自の奨学金制度を導入している。 ③ 心理カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングが受けられる体制を整えている。 |

| 基準7 学生納付金・就学支援 | |
|----------------|---|
| 【学生納付金の取り扱い】 | 入学時学納金は、年間一括と前後期分納で選択できる。 別途申請により、年10回分割にも応じている。 |
| 【活用できる経済的支援措置】 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高等教育の修学支援新制度 令和2年度在校生より認定校に。世帯収入によるが、1年生で最大166万円、2年生以上で最大150万円の支援が受けられる。 ● 公的奨学金 日本学生支援機構奨学金／東京都育英資金奨学金／日本学生支援機構学習奨励費 ● 水野学園奨学金制度 3年次学費減免制度／新入生奨学金制度／再進学奨励制度／教育ローン補助制度／親族奨学金制度／留学生奨学金制度 |

基準8 学園の財務

| | |
|------------|---|
| 【学園財務の状況等】 | 顧問税理士の指導を受けながら適正な会計処理を行い、監事2名による会計監査においても問題はない。 |
|------------|---|

1. 貸借対照表 令和6年3月31日現在

(単位:千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-------------------|---------------------------|-------------------|
| 固定資産 | 7,651,390 | 固定負債 | 157,896 |
| 流動資産 | 2,686,840 | 流動負債 | 1,262,362 |
| | | 負債の部合計 | 1,420,258 |
| | | 純資産の部 | 8,917,972 |
| 資産の部合計 | 10,338,230 | 負債の部及び 純資産の部合計 | 10,338,230 |

2. 事業活動収支計算書 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位:千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|---------------|------------------|
| 【収入の部】 | | 【支出の部】 | |
| 学生生徒等納付金 | 1,442,920 | 人件費 | 919,362 |
| その他の収入 | 264,782 | 教育研究経費 | 414,206 |
| | | 管理経費 | 360,620 |
| | | その他の支出 | 670 |
| 収入合計 | 1,707,702 | 支出合計 | 1,694,858 |

基準9 学校評価

| | |
|-------------------|---|
| 【自己評価・学校関係者評価の結果】 | 毎年、自己点検・自己評価を実施している。 学校関係者評価委員会を実施し、評価結果を公表している。 |
| 【評価結果を踏まえた改善方策】 | 学校関係者評価委員会の結果を踏まえ、改善すべき点の改善・検討を行っている。カリキュラムについては、教育課程編成委員会による提案も改善案として検討している。 |

以上